

2023年度看護師負担軽減計画

勤務状況	評価体制
<p>■看護師数:2023年4月1日現在 常勤 199名、非常勤 5名 ■看護師週平均業務時間:2022年度実績 平均週 37.79時間(内残業 0.072時間)</p>	<p>■看護師負担軽減会を編成し、定期的に軽減会にて進捗管理を行う (構成員:副院長(委員長)、以下 看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、 リハビリ療法士、臨床工学技士、総務人事課職員、医事課職員、医師事務作業補助者) ■軽減会を年3回(4月・10月・3月)開催して達成状況を確認する</p>

目標 : 各部門/分野の具体的な方策の達成度80%以上

部門/分野	現状・問題点	対応方針	具体的な方策	達成度	達成年度
看護補助者	・看護師不足と看護師の業務量が多く、本来の看護業務が出来ていない。	・看護師の負担が軽減され、看護の専門性がより発揮できるようサポートする。 ・看護補助者の知識、スキルアップの向上を目指す環境を整える。	・1回/月のケアスタッフ会での勉強会 ・ケアスタッフマニュアルの見直し ・看護補助者の業務範囲について周知理解を促し、チーム医療を充実していく ・看護補助者のラダーシステム導入と評価の実践	中間達成 50% 最終達成 %	2023年度
薬剤管理	1.病棟配置 2.薬の払い出し遅滞 3.時間外処方	1.病棟配置継続 2.薬の払い出し遅滞の回避 3.時間外処方の対応	1.服薬指導、退院時の説明、残薬チェック、相談応需 2.業務優先順位の見直し、監査担当者の役割継続 3.薬剤師24時間常駐体制の維持	中間達成 80% 最終達成 %	2023年度
画像診断部	中央処置室の慢性的な人員不足や画像診断部までの距離が長いにかかるとの労力を軽減できるか検討する	造影検査の観察、抜針を中央処置室看護師が行っている。その業務の一部を画像診断部で行えるか検討する	造影CT検査の冠動脈CTAと救急患者以外の造影検査の観察と抜針を画像診断部で行う。 理由として、冠動脈CTAは検査前に様々な薬品の前投与があったり、検査後の観察が必要であるため中央処置室の看護師のサポートが必要である。また、救急患者も観察を要するのでサポートが必要である。それ以外急変の可能性が低い患者の造影検査の観察や抜針を画像診断部で行う。	中間達成 80% 最終達成 %	2023年度
臨床検査部	中央採血室での人員不足。心エコー検査において女性技師実施により看護師の介入をなくす	採血室の増員。心エコーにおいて女性技師2名から3名体制に増員。	若手の育成及び手技のレベルアップ	中間達成 60% 最終達成 %	2023年度
リハビリセンター	患者能力(できるADL)が病棟での生活に活かされていない事がある	病棟活動度(安静度)の変更時の円滑な連絡	出来るADL能力の適時連絡及び療養支援カンファレンスでリハ進捗状況報告	中間達成 80% 最終達成 %	2023年度
臨床工学部	呼吸器の管理が不十分	呼吸器の保守管理業務の充実	呼吸器(侵襲的・非侵襲的に関わらず)の導入から離脱までの業務介入。人材の育成。	中間達成 50% 最終達成 %	2023年度
医事課	看護師が処理する項目が多く、看護業務に影響を与えている	入院患者への事前説明や対応を継続して行っていく。カルテ入力内容に係る部分についての見直しを行い、不要なものがあれば削除の提案を行う	高額医療費等の医療費についての説明、入院中の他院受診についての説明や自費となる項目についての説明を入院担当者が継続して実施する。 現在の入力内容の中で、不要であるものがないか見直しを行い、やめることが可能な内容があれば提案をしていく。 看護師が本来の看護業務に専念できるよう協力体制を整備する。	中間達成 50% 最終達成 %	2023年度
総務人事課	・看護師の採用が難しい ・看護学生の実習が多い ・看護師の教育研修が多い	・看護師採用活動をサポートする ・看護学生の実習窓口をサポートする ・看護師の教育研修業務をサポートする	・就職説明会等の事務局および、ホームページ等の広報活動を行い、看護師採用のサポートを行う ・各看護学校の担当者や情報共有して、円滑な看護実習が実施できるようサポートを行う ・看護師の研修費および教育体制の委員会事務局としてサポートを行う	中間達成 80% 最終達成 %	2023年度

	時期	状況
進捗状況	4月	今年度の方針・方策の確認
	10月	中間達成度の報告
	3月	最終達成度の報告